

【ソフトテニス】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

(2) 個人戦

各県男女8組。各県の個人戦の成績順位で、上位8組を選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の(公財)日本ソフトテニス連盟競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球(白)を使用する。団体戦は男女ともダンロップボール, 個人戦は男子ケンコーボール, 女子アカエムボールを使用する。

(3) ユニフォームは, 上は半袖のスポーツシャツ(襟なし可), 膝より上のパンツ, スコート(ショートパンツ)を着用すること。

[注意] 服装(用具を含めて)の色等は華美にならないようにする。

(アンダーウェアは黒、白、ベージュ色の単色とし、文字(メーカーロゴ除く)や模様のないものとする。)

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) 監督がベンチに入る時は, スポーツウェアを着用し, テニスシューズを必ず履くこと。また, 監督は常にIDを付けること。ゼッケンは不要とする。

(6) 外部指導者(コーチ)のベンチ入りを認める。IDの他に【外部指導者(コーチ)証】を所持すること。

(7) 選手変更について

① 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は, 「変更届」を監督会議で提出する。

② 団体戦で, 申し込み後, メンバーを変更し直す場合は, 「変更届」を監督会議で提出する。

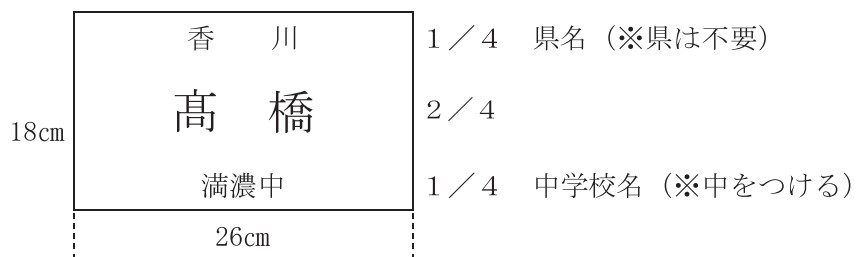
(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し, 使用してはいけない。ただし, ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

(9) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し, 背中の中央につける。ただし, 四隅を留めるものとする。

① ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布に都道府県名, 姓, 学校名(地域クラブ活動名)を3段で記述する。また, 県名の「県」の文字はつけず, 中学校の「中」の文字はつけるものとする。

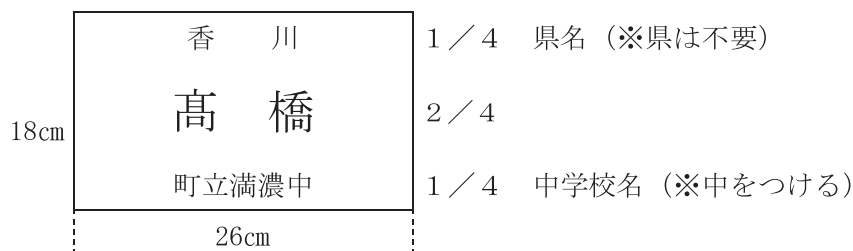
② ゼッケンの文字は「漢字」, 「ひらがな」, 「カタカナ」を使用し, 文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。

《例1》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



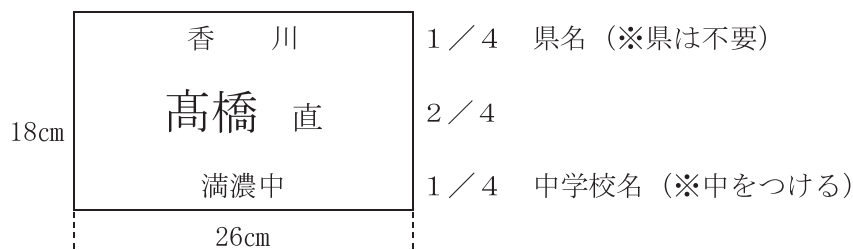
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例2》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



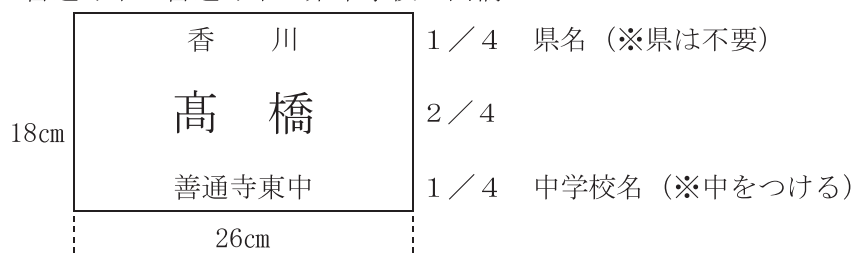
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例3》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 直子



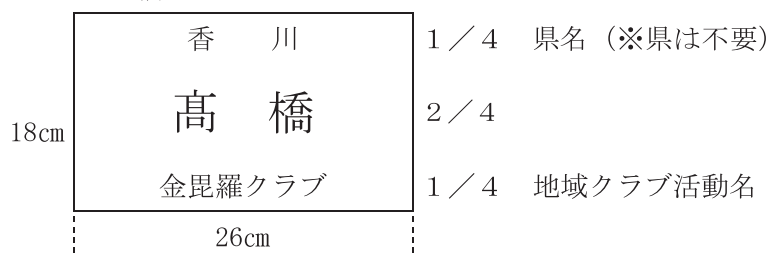
- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》香川県 善通寺市 善通寺市立東中学校 高橋 正



- ⑥ 地域クラブ活動の場合

《例5》金毘羅クラブ 高橋 正



3 競技方法

- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各8校（監督1名と選手6名で1チーム編成登録8名以内）によるトーナメント方式の団体点取法。※必要最低選手数4名
- (2) 個人戦は各県から選抜された男女各32組によるトーナメント方式。
- (3) 個人戦が重なった場合のみ、当該校の教員（部活動指導員）及び各県ごとに登録された外部指導者（コーチ）を監督として複数付けることができる。
- (4) その際には、監督追加届を提出すること。
- (5) ゲーム数は7ゲームとする。

(6) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

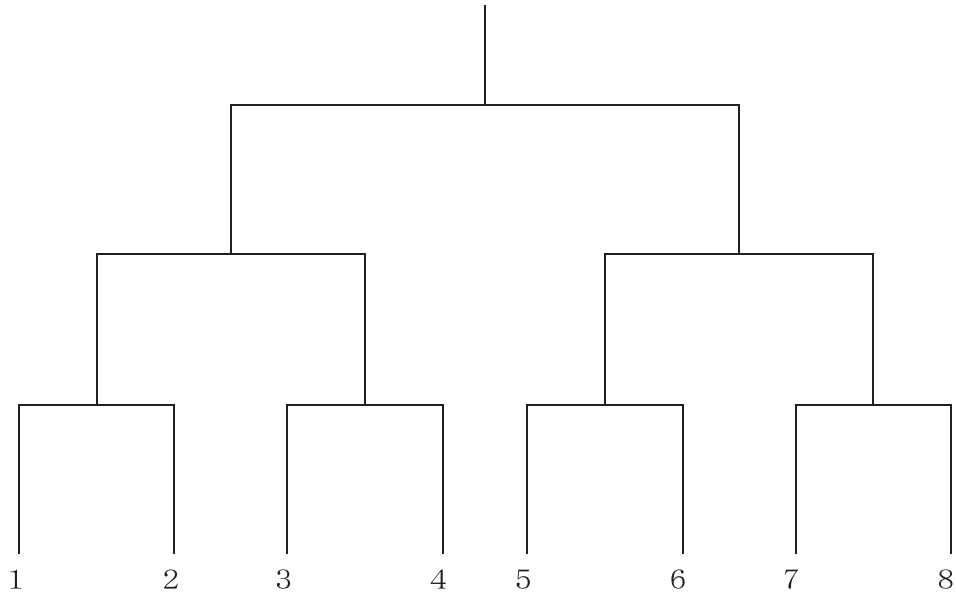
(第1日目) 11:00～ 開会式
11:30～ 団体戦

(第2日目) 9:00～ 開始式
9:30～ 個人戦

※ 個人第5代表決定戦は、準々決勝で敗れた4組で抽選を行い、トーナメント方式で決定する。

(7) 組合せ

[男子]



[女子]

